

平成 26 年度第 1 回津山市立図書館協議会会議録【概要】

日時：平成 26 年 9 月 18 日午後 3 時～ 4 時 30 分

会場：津山市立図書館 集会室

出席委員 内田委員 小椋委員 加藤委員 國米（ま）委員 國米（ひ）委員
小林（け）委員 小林（ひ）委員 定久委員 竹内委員 土井委員
長谷川委員 福田委員

欠席委員 頭土委員 西口委員 本郷委員

事務局 松尾部長 大倉館長 武下 大河原

1. 開会

2. 挨拶（略）

3. 委嘱状交付

4. 委員自己紹介（略）

5. 委員長・副委員長選任

事務局 今年度は図書館協議会委員任期の初年度にあたるため、津山市立図書館条例施行規則第 16 条により当委員会の委員長、副委員長の互選をお願いしたい。

事務局 竹内委員長、福田副委員長で承認いただいた。

6. 委員長あいさつ

委員長 図書館は子供たちの未来をつくるために重要な施設。協議会では本館もさることながら地区館、自動車文庫についても忌憚のないご意見をお願いしたい。

副委員長 図書館の使命も多様化かつ濃密になっていると思う。議論していきたい。

7. 報告

(1) 平成 25 年度津山市立図書館及び視聴覚ライブラリーの利用状況について

事務局 貸出、利用人数はやや減少傾向にあり、新刊の購入点数は年間の発行部数の 1 割強にとどまっている。行事は連携事業や共催、ボランティアの協力を得て、読書活動の推進とあわせて、市民の課題に対応するような多彩なメニューで実施している。

視聴覚ライブラリーはDVDの貸出が増加した。

8. 議事

(1) 平成26年度津山市立図書館主要事業について

事務局 26年度主要事業に(1)幅広い知識、情報の提供、(2)学校図書館との連携と支援、(3)地域支援サービスの充実、(4)子育て支援の推進を挙げている。

委員 学校図書館と図書館との電算システムネットワーク化に向けた取り組みを行っているということだが、進捗状況はどうか。

事務局 平成23年度に実施した小学校の図書館の調査を受けて、平成24年度から実務者会議を立ち上げている。予算上の問題で、具体化に至っていない。

委員 久米地域でも各小学校の状況はバラバラ。予算がつけば、いっきに動かすということか。

委員 予算が大きな壁になっているようだが、図書館協議会で大いに問題になったということをしかりと伝えていただきたい。

委員 子育て支援について、参加している人よりもむしろ参加していない人たちへの啓発が課題では。保育園とタイアップするなどして絵本の大切さを伝えていただきたい。

委員 小学校では図書の利用して読み聞かせを行っている。

委員 久米図書館の本を放課後児童クラブで借りて活用している。

(2) 「視聴覚ライブラリー担当委員の選出について

事務局 当図書館協議会では視聴覚ライブラリーの運営についてもお審議いただくことになっている。今年度の視聴覚資料購入の選定について、福田委員、土井委員、西口委員にお願いしたい。

委員 了承

(3) 津山市立図書館の運営について

事務局 お手元に「図書館ビジョン(原案)」をお配りしている。教育行政全体のなかで、図書館も教育委員会の重点施策や生涯学習推進計画などに沿って事業を行うが、図書館職員の共通認識を持つために「図書館ビジョン」を作成した。原案の段階であるが、ご意見をいただいて反映させていきたい。

委員長 お持ち帰りいただいて、近いうちにご意見を願います。図書館で、何か新しい取り組みなどはあるか。

事務局 一般向けの「つやま読書会」、昨年は高校生に参加していただいた「ビブリオバトル」の一般向けを予定している。図書館の魅力が発信できるよう、新しい行事を開拓している。

- 委員 学生が参加できるチャンスがあれば、大学も協力して進めていければと思う。
- 委員 P T Aとして周りの子供たちを見ていると本よりもゲームに費やす時間が多い。読書に興味のない人にどう働きかけるかが課題だろうと思う。
- 委員 県立図書館は貸出日本一で、予算もたくさんついているものと思う、加茂町図書館では月に2万円ほどしか本が買えない。人気がある本は1年半も待たないといけない。
- 委員 しっかり図書館に予算をつけていただきたい。
- 事務局 生涯学習部に対してシーリングをかけられている。既存施設に予算をたくさんつけるのが難しい状況にある。図書館はアルネ・津山にある関係上、資料費以外にも経費がかさんでいて苦慮している。極力、図書購入費に回るように努力していく。
- 委員 子ども教室で自動車文庫ぶっくまるをいつも利用している。本好きな子はわずかな時間でも本を読んでいる。
- 委員 阿波小学校が今年度から加茂小学校と統合された。引き続き、ぶっくまるが来ているが、もう少し利用されればと思う。
- 委員 読書環境を含めて子供たちの家庭環境が大切と考えている。学力向上とか、子供たちも忙しいが、子供たちがゆったりと本と触れ合えるような環境も必要だと考えている。
- 委員 「図書館ビジョン」で様々な利用者に対応した資料整備として電子図書、音読CDなどを挙げているが、法律が変わって障害者へのサービスが義務化される。予算獲得に説得力があるのでは。国立国会図書館が提供を始めた絶版図書の電子図書提供は参加しないのか？
- 事務局 閲覧用機器が合わず、対応できていない。今後調整していく。
- 委員 郷土博物館がデジタル公開した「江戸日記」はたくさん閲覧されていると聞いている。世界が相手の時代となっており、情報を充実させるためにも教育予算はがんばって獲得してほしい。図書館の運営で困っていることはないか。
- 事務局 図書館内での飲食や携帯電話の充電、新聞の切り抜きや本への書き込みなどマナー対策には苦慮している。また、地区館をはじめ施設の老朽化や空調設備の不調など、今後対応が必要になる。

(4) その他

- 事務局 平成27年2月末に図書館の電算システムのリプレイスを行う。そのため一週間程度の臨時休館を予定している。ホームページの更新等、より利用しやすい環境を整える。

9 . 閉会挨拶

副委員長 多くの方が読書に親しみ、豊かな心で過ごしていただきたい。

10 . 閉 会